

I S H I K A W A

Medical WAVE

いしかわメディカルウェイヴ
石川県地域医療支援センター 広報誌

Winter
2020

vol.21



石川県地域医療支援センター

平成30年度 糖尿病対策成果発表会

会場
開催日

石川県立産業振興センター
新館
平成31年2月24日(日)



1

開会の挨拶

石川県糖尿病対策推進会議委員長
西村 泰行氏



2

各地域の協議会の取組み報告(9協議会)

【座長】

石川県南加賀保健福祉センター所長

沼田 直子氏

石川県糖尿病対策推進会議(金沢医科大学教授)

古家 大祐氏

石川県石川中央保健福祉センター所長

伊川 あけみ氏



沼田 直子氏 古家 大祐氏 伊川 あけみ氏

加賀市糖尿病協議会



【発表者】

小林 武嗣氏

【会長】

松下 重人氏

- 医師向け症例検討会(2回)、コメディカル向け研修会(1回)の開催
- 糖尿病週間行事の開催(テーマ:知ろう糖尿病 防ごう合併症)
- 薬局での随時血糖測定(参加人数68名、参加薬局15薬局)、ポスターの作成
- 加賀市医療センターとの病診連携(かもまるネットワーク)
- 歯科医との連携(歯科医受診啓発パンフレットの作成)

小松市医師会糖尿病連携推進協議会



【発表者】

湯浅 豊司氏

【会長】

東野 義信氏

- 小松市との連携(特定健診後、医療機関未受診者に対し小松市から受診勧奨)
- 診療所における栄養指導・運動指導の強化(医療機関から市の栄養相談・運動教室への紹介)
- 小松能美薬剤師会主導による「薬局での血糖測定のモデル事業」の実施
- 小松市における病診連携・診診連携の強化
- 糖尿病研修会及び糖尿病症例検討会の開催

かけはしネットワーク能美



【発表者】

臼倉 幹哉氏

【会長】

松田 健志氏

- 病診連携合併症検査システム、「糖尿病かけはしチェック」の改訂
- 特定健診での尿中アルブミン測定(糖尿病で治療中もしくは過去の健診でHbA1c \geq 6.5%の方が、尿蛋白定性検査で陰性もしくは疑陽性の場合にu-alb測定(随時)を実施)
- 糖尿病サポートナース研修(第3期)の開始(参加人数36名)

糖尿病患者を助け合う地域連携協議会・七緒の会



【発表者・会長】
宮本 正治氏

- 患者指導体制の整備(糖尿病腎症透析予防指導の充実)
- 地域における糖尿病腎症重症化予防連携体制整備と周知
- 糖尿病診療医療機関への腎機能悪化予防を目指す治療ガイドラインの紹介
- 地域関連スタッフの勉強会
- 市民啓蒙活動(広報誌、健診での指導対象者への講演会)

羽咋郡市糖尿病地域連携協議会



【発表者】
西澤 誠氏
【会長】
松下 栄紀氏

- 1 医療関係者に対する取り組み
 - 講演会の開催
- 2 住民・患者に対する取り組み
 - 眼科・歯科・内科との連携事業
 - かかりつけ医と市町保健師・管理栄養士による療養指導
 - 糖尿病理解のための出前講座などの啓蒙活動
 - 住民検診後の事後指導への支援



能登北部地域医療協議会糖尿病重症化予防連携部会



【発表者・部会長】
小泉 順二氏

- 能登北部全体の事業(活動報告会、研修会)
- 糖尿病の普及啓発(石川県民糖尿病フォーラムin能登、糖尿病食事会)
- 栄養指導の受託の強化
- 能登北部糖尿病療養指導士連絡会及び研修会の開催
- 行政における糖尿病重症化予防
- 医療・介護スタッフの育成(他職種カンファレンス、事例検討会)

白山野々市地区糖尿病重症化予防ネットワーク協議会



【発表者・代表】
真田 陽氏

- 「糖尿病重症化予防パンフレット」の改定(第4版)
- 「糖尿病重症化予防パンフレット【歯科機関用】」を発行(初版)
- かかりつけ医や糖尿病療養指導士などを対象とした研修会、症例検討会の開催
- 住民向けの啓発普及(市民公開講座・公民館出前講座)について

金沢地域における糖尿病診療連携に関する連絡会議



【発表者・代表】
竹田 康男氏

- 昨年度作成した「いしかわ糖尿病性腎症重症化予防プログラムー金沢市医師会生活習慣病(特定健診)委員会編ー」に基づき指導実施。
- 市内60か所の公民館にて、かかりつけ医に、医師会で作成したレジメでの講話を依頼
- 金沢市保健師等の糖尿病研修会および医師会との連携
- 医療機関への協力(HbA1c8.0%以上の受診者リストの配布)
- 石川県栄養士会との共同事業の実施(診療所における栄養指導及び看護師対象の栄養指導勉強会)

河北地区糖尿病発症・重症化予防ネットワーク協議会



【発表者・会長】
古家 大祐氏

- 3市町健康まつり開催
- 保健と医療との連携(保健指導強化、治療中断者未治療者の把握と受診勧奨)
- 住民向け糖尿病発症・重症化予防の啓発活動(第9回恋人の聖地内灘ロマンチックウォーク、世界糖尿病デーブルーライトアップ等)

3

関係団体の取組み報告

【座長】 石川県糖尿病対策推進会議
(金沢大学教授)
篁 俊成氏



石川県歯科医師会



【発表者】
西多 直規氏

【会長】
蓮池 芳浩氏

- 各種研修会の開催、研修会への講師派遣(糖尿病に対する教育・受診勧奨、地域かかりつけ歯科医による出前講座など)
- 普及啓発の実施(健康関連イベント、保健指導等)
- 日本糖尿病協会登録歯科医、石川県糖尿病かかりつけ歯科医への登録促進
- 医療機関との連携強化の推進(糖尿病連携手帳の活用など)
- 歯科からのメタボ対策(特定健診、特定保健指導時)

石川県糖尿病協会



【発表者・会長】
早戸 武志氏

- 会員1,000人を目指して3カ年計画を実施
- 金沢大学附属病院における会設立(バランス生活クラブ)
- 石川県協会50周年の節目の事業を計画
- 友の会、患者会の役割(会の行事を通じ交流、「さかえ」誌による情報提供)

石川県国民健康保険団体連合会



【発表者】
荒木 早苗氏

【理事長】
油野 和一郎氏

- 国保データベース(KDB)並びに特定健診データから石川の糖尿病の実態
- 県内市町の糖尿病対策実施状況(糖尿病管理台帳など)と課題

4

閉会の挨拶

石川県糖尿病対策推進会議委員
古川 健治氏



小児在宅分野における取組の紹介

医療技術の進歩等を背景として、NICUに長期間入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが必要な障害児（以下、「医療的ケア児」といいます。）が増加しています。そうした中、平成28年6月3日「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の一部を改正する法律」が公布（平成30年4月1日施行）され、医療的ケア児が地域において必要な支援を円滑に受けることができるよう、地方公共団体は、医療、保健、福祉、教育など各分野の連携体制の整備について必要な措置を講ずるよう努めることとされました。

石川県においては、平成28年度より、小児医療ネットワーク事業協議会のもとに「小児等在宅医療連携推進部会」を立ち上げ、医療的ケア児のための支援体制の充実に向け、様々な取組を実施しています。

1 医療的ケア児の実態把握調査の実施

本年度、県が実施した「医療的ケア児の実態把握調査」において、市町が把握している県内の医療的ケア児（高校生以下）の数は119人でした。

医療圏別では石川中央が最も多く76人、次いで南加賀が22人となっています。必要な医療的ケア別では、経管栄養や吸引、在宅酸素療法が多くなっています。

《表 医療的ケア児の人数》 (単位:人)

	医療的ケア児 (実人数)	必要な医療的ケア								
		吸引	吸引 ネブライザー	経管 栄養	導 尿	人工 呼吸器	気管 切開部 管理	人工 肛門	在宅 酸素 療法	その他
南加賀	22	6	1	15	2	3	3		8	1
石川中央	76	27	10	39	3	12	9	3	26	2
能登中部	18	4	1	10		3	3	1	2	5
能登北部	3	1	1	2						1
(計)	119	38	13	66	5	18	15	4	37	8

(出典)石川県健康福祉部調べ(2019.5.1現在)

2 医療、保健、福祉、教育分野の関係者向け研修会の開催

医療、保健、福祉、教育分野の関係者向け研修会の開催

- ・ 6月30日 全体研修「医療的ケア児・者の災害時対策について考えてみよう」
- ・ 7月21日 看護部門研修「子ども達の力を引き出す看護」
- ・ 9月15日 医師部門連絡会
- ・ 11月24日 リハビリ部門研修「重症心身障害児者のリハビリテーション」



医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材を養成することを目的として「医療的ケア児等支援者養成研修」「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」の開催が予定されています。

- ・ 2月15日、2月16日 「医療的ケア児等支援者養成研修」
- ・ 3月5日、3月6日 「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」 ※申込の受付は既に終了しております。

3 医療的ケア児のための災害時あんしんファイルの作成

大規模な災害に伴う停電や在宅医療機器の損壊、交通網の遮断等で「人工呼吸器や酸素濃縮器等の在宅医療機器が使用できなくなる」「薬や医療用具、経管栄養剤が足りなくなる」「かかりつけの病院に行けない」などの事態がおこることが想定されます。

そこで、小児等在宅医療連携推進部会では、災害に備えた普段からの準備や災害時の対応手順、必要な医療処置の情報をまとめた、医療的ケア児のための「災害時あんしんファイル」の作成を進めています。現在、県内医療機関において試験運用中であり、令和2年4月より本格運用を開始する予定となっています。



4 絵本「いっしょにお話ししよう」について

小児等在宅医療連携推進部会において、重症心身障害児のきょうだいに対する支援の絵本「いっしょにお話ししよう」を作成しました。配布をご希望の方は下記連絡先までお問合せください。

問い合わせ先

石川県小児医療ネットワーク事業協議会 事務局 金沢大学医薬保健研究域医学系 小児科内
TEL:076-265-2313 FAX:076-262-1866 E-mail:ipednet@med.kanazawa-u.ac.jp

平成30年度

在宅医療推進事業成果発表会

開催日 平成31年 3月27日

会場

本会場 : 石川県医師会館 4階「研修室」

サテライト会場1 : 小松市民病院 南館 4階「第4研修室」

サテライト会場2 : 公立能登総合病院 3階「第3会議室」

サテライト会場3 : 公立穴水総合病院 透析センター2階「講堂」

「在宅医療推進事業成果発表会」は、3月27日石川県医師会館と3つのサテライト会場で開かれ、17の在宅グループからメンバーが集まり、5つのグループが平成30年度に実施した取り組みや課題、今後の方針について発表しました。参加した関係者はそれぞれの地域の特性を踏まえた活動報告に耳を傾け、よりよい在宅医療の実現に向けて議論し、考えを深めました。

石川県医師会の安田健二会長の開会挨拶から始まり、石川県医師会の佐原博之理事より、平成30年度の石川県医師会在宅医療推進事業についての報告が行われました。さらに、5つの在宅グループが1年間の活動を報告。研修会や事例検討会の開催、多職種との連携の工夫など地域の実情を考慮して実施した結果と、そこから見えた問題点などを発表しました。

総合司会

石川県医師会理事
村井 裕氏



開会挨拶

石川県医師会会長
安田 健二氏



平成30年度

石川県医師会在宅医療推進事業報告

在宅医療推進事業報告



〔発表者〕
石川県医師会理事
佐原 博之氏

- 1) 在宅医療推進事業打合せ会
- 2) 在宅医療研修会「在宅医療をもう一步進めるために」
- 3) 県内3地区での在宅医療地域リーダー研修会
- 4) 県内3地区での県民公開講座
- 5) 認知症対策事業
- 6) 在宅医療推進協議会



平成30年度

在宅医療連携グループ活動報告

座長 石川県医師会 佐原 博之氏

金沢元町在宅医療を考える会



〔発表者〕
綾 道秋氏

〔発表内容〕

- 広報部、地域活動部、研修部などグループの組織について
- 研修部では、在宅医療に関する研修、加賀脳卒中連携パス協議会とのコラボ研修、交流会などを開催
- 今後のテーマについて
- 広報部ではホームページの更新や行事の広報などを実施
- 地域活動部ではお寺で息災カフェ、かかりつけ医等認知症対応力向上研修などを開催



河北認知症を地域で考える会



[発表者]
沖野 惣一氏

[発表内容]

- グループのこれまでの取組・他団体との関係
- 事例検討会や加賀脳卒中連携パス協議会とのコラボ研修を開催
- 在宅医療・介護連携推進のための講演会や市民参加型研修会の開催
- 研修会の参加者の内訳について
- 今後の展望について

はくい在宅研究会



[発表者]
松沼 恭一氏

[発表内容]

- グループ幹事について
- 認知症事例検討会を開催
- 終末期や口腔ケアについての座学の開催
- 研修や座学への参加者について
- 宝達志水町地域包括ケアシステムを学ぼう会の共催

こまつ在宅医療研究会



[発表者]
勝木 保夫氏

[発表内容]

- グループの目的、活動内容
- 平成27年度から小松市在宅医療介護連携事業として小松市医師会と協力して活動
- アンケートの実施と活動への反映
- 市民公開講座や多団体共催でのセミナーを開催し、テレビ小松で放映も

すずらんの会



[発表者]
東 博美氏

[発表内容]

- 珠洲市の高齢化率や医療費、介護給付費の現状
- 珠洲市の在宅医療介護連携の取組のこれまで
- 在宅終末期医療の取組として、在宅医療・介護連携推進会議の開催
- 珠洲市総合病院患者支援センターと包括の定例会の開催
- すずらんの会の願い

平成31年度

在宅医療推進事業についての行政計画



石川県健康福祉部
地域医療推進室
室次長
木村 慎吾氏

平成31年度の事業計画

- 在宅医療連携システム推進
- 在宅医療を担う人材の育成
- 病床機能分化・連携支援事業
- 各市町の在宅医療連携推進協議会との連携
- 認知症対策

閉会挨拶

石川県医師会 理事
橋本 英樹氏



在宅医療のさらなる広がりを目指して

在宅医療研修会「在宅医療のさらなる広がりを目指して」は、石川県医師会館と、3つのサテライト会場で開催され、医師36名、看護師101名、その他18名、計155名の医療関係者の皆様が参加されました。

開催日 令和元年11月5日(火) 19時～21時

会場 本会場：
石川県医師会館 4階 研修室

サテライト会場：
小松市民病院南館 4階「第4研修室」
公立能登総合病院 3階「第3会議室」
公立穴水総合病院透析センター 2階「講堂」

司会



石川県医師会理事
菊地 勤氏

座長



[特別講演]
石川県医師会理事
長尾 信氏



[シンポジウム]
石川県医師会理事
佐原 博之氏

開会
挨拶

石川県医師会理事
佐原 博之氏



研修会
1

特別講演 (19:00～20:00)

「地域包括ケアとACP」

講師

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
在宅医療・地域医療連携推進部長

三浦 久幸先生



講演内容

- 厚生労働省「人生の最終段階における医療の決定プロセスガイドライン」の改定の経緯について
- ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の定義について
- ACPの効用について
- ACPの実践方法(ACPを開始するタイミング、成ACPは功するためのポイント、チーム形成の必要性、市民への普及啓発について)

研修参加者
からの声

- 「ACP・人生会議の意味が理解できた」
- 「自分たちの取り組みに対して方向性がみえた」
- 「当院でもACPを取り入れているのでこの講演を参考に進めていきたい」
- 「ACPはプロセスであるという点、現場ではDNRと同じであると捉えていることが多いが、違いが明確になった」
- 「ACPファシリテーターの育成、医療関係者のACPに対する理解など課題は多いが、地域の患者、ご家族のために取り組む必要がある」

《テーマ》在宅医療における多職種連携 — 特定行為研修修了看護師の役割 —

《事例発表》



白山石川医療企業団吉野谷診療所
佐々木 清美氏

発表内容

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連における特定看護師として活動している佐々木氏が特定看護師を目指した理由や、特定看護師として関わった2事例について述べられた。診療所の特定看護師として、病状の範囲内ではあるが状態に応じて特定行為を実施することで重症化を防止、1人体制で診療している医師の負担軽減につなげていきたいと発表された。



公立能登総合病院訪問看護ステーション
木下 真由美氏

発表内容

公立能登総合病院訪問看護ステーションでは、現在2名が創傷管理関連における特定行為看護師として在籍している。特定行為を実施することにより、短期間で褥瘡が治癒した事例について述べられた。また、これからの課題として、地域住民への周知及び活動システム作りが必要であると発表された。



済生会金沢訪問看護ステーション
平岡 淳子氏

発表内容

創傷管理関連における特定看護師として活動している平岡氏から、特定行為や特定看護師の概要について述べられた。特定行為を実施することの意義として、利用者が望む療養環境で利用者の生活を重視しながら必要な医療処置を行うことができることだと述べられた。今後の展望として、特定行為を活用することで、在宅医や他の訪問看護ステーション等と連携し、幅広く創傷治癒・管理に貢献し、地域ケアシステムの一部としての役割を担いたいと発表された。

ディスカッション

特定行為に関する事例発表者3名と三浦先生をパネリストとして意見交換を行った。特定行為手順書作成における診療体制についてや、特定行為を地域でどのように活用するか等意見交換された。

その他の研修参加者からの声

- 「特定行為の意義が分かった」
- 「特定看護師の実践活動がよく分かった」
- 「在宅で特定行為を実践するための体制づくりはとても大切だと感じた」
- 「特定行為の活動状況が分かり、とても参考になった」

第 3 回

いしかわ診療情報共有ネットワーク・ハート 並びに一般社団法人日本医療・病院管理学会

日時 令和元年 11月27日(水) 19時～21時

場所 本会場：石川県医師会館 4階 研修室
サテライト会場：小松市民病院、公立能登総合病院、
公立穴水総合病院

司会

石川県医師会理事
橋本 英樹氏



1 開会挨拶



石川県医師会会長
安田 健二氏



一般社団法人
日本医療・病院管理学会評議員
長瀬 啓介氏

2 石川県内のICTネットワークの現状と課題

① いしかわ診療情報共有ネットワーク



石川県医師会理事
長尾 信氏

[発表内容]

- ネットワーク構築の経緯や特徴
- 登録患者数や閲覧数などの現状と分析
- いしかわネットの今後の課題

② ハートネットホスピタル



金沢市医師会理事
大野 秀棋氏

[発表内容]

- ネットワークの概要と特徴
- 機能やいしかわネットとの相違点
- 同意取得方法などの新しい取組

③ たまひめネット



金沢大学附属病院医事課
山田 浩美氏

[発表内容]

- ネットワークの現状
- 他のネットワークとの関係性
- ネットワークの今後の課題



ネットホスピタル研究会 第380回例会



3 セキュリティ研修

石川県医師会理事 佐原 博之氏



4 事例報告

座長

公立松任石川中央病院病院長代行 横山 邦彦氏



1 ID-Link非公開病院と診療所、在宅医療連携における HNHの活用への取り組み

金沢聖霊総合病院診療部長 古田 一史氏



2 いしかわ診療情報共有ネットワークを利用した 病院と薬局との診療情報共有に関する実験事業報告

石川県薬剤師会 白山ののいち支部 松田 泰美氏



3 ID-Linkを利用した加賀パス運用状況について

加賀脳卒中地域連携協議会会長 池田 清延氏



4 ID-Linkを用いた加賀脳卒中地域連携クリニカルパス運用が 業務時間短縮に及ぼす効果

やわたメディカルセンターリハビリテーション科 池永 康規氏



5 閉会挨拶

金沢市医師会会長 羽柴 厚氏



石川県内の専門研修プログラムのご紹介

石川県では19すべての基本領域において専門医の取得が可能となっており、総計51の専門研修プログラムが用意されています。12の基幹施設を中心に、特徴あるプログラムを組んでいるほか、多数の機関が連携施設として協力しているため、県内全域で充実した専門研修を受けることができます。これから専門医の取得を目指す皆様に向け、石川県内の専門研修基幹施設を紹介いたします。

石川県では
19すべての
基本領域に対応
しています。

石川県内の専門研修プログラム



総計51の
プログラムを
用意しています。

専門研修基幹施設

- 01 内科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
県立中央病院
金沢医療センター
金沢市立病院
城北病院
公立能登総合病院
- 02 外科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
- 03 整形外科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
県立中央病院
- 04 小児科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
- 05 産婦人科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
県立中央病院

- 06 麻酔科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
- 07 救急科 | 県立中央病院
- 08 精神科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
県立高松病院
松原病院
- 09 脳神経外科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
- 10 泌尿器科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
- 11 耳鼻咽喉科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
- 12 眼科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
- 13 放射線科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院

- 14 皮膚科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
- 15 形成外科 | 金沢医科大学病院
- 16 病理 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
県立中央病院
- 17 臨床検査 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
- 18 リハビリテーション科 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
- 19 総合診療 | 金沢大学附属病院
金沢医科大学病院
県立中央病院
城北病院
恵寿ローレルクリニック
公立穴水総合病院
加賀市医療センター

専門研修プログラム 窓口一覧

金沢大学附属病院

担当 右記HPの各領域連絡先を参照



公立能登総合病院

担当 総務課

TEL 0767-52-8749

E-mail syomu@noto-hospital.jp



金沢医科大学病院

担当 右記HPの領域一覧参照



県立高松病院

担当 総務課

TEL 076-281-1125



県立中央病院

担当 総務課職員係

TEL 076-231-7855

E-mail syokuin@ipch.jp



松原病院

担当 事務局

TEL 076-231-4138

E-mail kanamatu@bridge.ocn.ne.jp



金沢医療センター

担当 管理課

TEL 076-262-4161

E-mail kenshu@kinbyou.hosp.go.jp



恵寿ローレルクリニック

担当 恵寿総合病院臨床研修センター

TEL 0767-52-3211

FAX 0767-52-3218

E-mail kenshu@keiju.co.jp



金沢市立病院

担当 事務局

TEL 076-245-2600

E-mail byouin@city.kanazawa.lg.jp



公立穴水総合病院

担当 公立穴水総合病院
臨床研修センター

TEL 0768-52-0655

E-mail ccm@kanazawa-med.ac.jp



城北病院

担当 医師研修推進室

TEL 076-251-6111

E-mail j-ishikensyu@jouhoku.jp



加賀市医療センター

担当 企画経営課

TEL 0761-72-1188

E-mail kikakukeiei@city.kaga.lg.jp





石川県地域医療支援センター

金沢市宝町13-1 金沢大学附属病院 内 TEL.076-265-2991